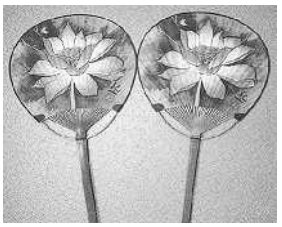
11日に60回記念の鎌倉花火大会

4千発打上、納涼うちわも発売中

名物の水中花火で知られる鎌倉市観光協会主催の60回記念・鎌倉花火大会は8月11日午後7時から材木座と由比ガ浜の鎌倉海岸で行われる。昨年並みの27万の人出が見込まれている。



記念大会として例年より千発多い4千発を打ち上げる。沖合から花火を打ち上げる台船は1台増やし2台。導火線に点火して台船から投げ下ろし、海面すれすれで半円に開く水中花火は290発。

鎌倉花火大会は49年に始まり、61年の13回大会で水中花火が初披露された。真夏の夜空と海面に映える彩りが人気を呼び名物となった。8月10日に定着していたが、02年から4年間8月の第二次曜に変更、評判が悪くまた10日に戻った。今年は日曜と重なったため月曜にする。雨天の時は12日に順延。この花火大会の費用に充てるため、1口5千円の観覧席780席分と1本3百円の絶涼うちわを発売している。うちわは日本画家平松礼二さんの蓮の花の絵柄で1万2千5百本製作＝写真。問い合わせ同協会☎0467・23・3050

ひと

ロータリー国際親善の奨学生でフランス留学

東川（ひがしかわ）　愛（あい）さん

東京芸大の大学院音楽研究科博士後期課程の3年生で専攻は音楽学。休学しての留学である。博士課程で取り組んでいるフランスの作曲家・指揮者ブーレーズは音列技法を発展させ、戦後の前衛音楽の中心になった。

パリの音楽・音響の探求と調整の研究で知られる国立音響研究所長になり、コンピュータによる音楽創作の先駆けともなった。

「音楽は作品そのもので語られることが多いがその生まれた背景とか環境、時代が複雑に影響している。絵画や文学、現代思想など、ほかの芸術は現代音楽と音楽美学といったゼミも盛んで、この面の視野を広めることを留学の目的の一つに入れている。

アメリカ・シカゴで1905年に誕生したロータリークラブは世界最大の国際奉仕団体に成長。その奉仕活動の一つとして47年に創設されたのが、国際親善奨学金制度。財団とロータリアンの寄付で支えられ、世界規模だと3万8千人余、日本でも7千人余が留学、現地での交流や親善につくしている。

鎌倉ロータリークラブからは74年度以来、アメリカ、イタリア、フランスなど、これまで各地に19人の奨学生を送り、東川さんは20人目。渡仏や留学関係の親代わりのカウンセラーは石渡好行ロータリアンが担当している。

「奨学金はドルでいただけるんですが、現地はユーロ。いまユーロのレートが高いのでちょっと気掛かり。やりくりして何とか頑張らなければと思っている」

東京に企画事務所を持つ東川博文さんの長女。父のウインドサーフィンが高じて、海のある鎌倉に住んでいる。

ピアノは5歳からやっており、ピアニストを目指していた時もあった。母の則子さんは心配そうだが、利発で明るい愛さんは、専念している音楽学のその野を広げる手立てを、留学でつかんできたいと夢を描く。

（7面に関連記事掲載）

こんな素晴らしい機会に恵まれ幸せ。個人留学では得られない経験ができると楽しみにしている。行き先のレンヌはフランス北西部で、肥沃なブルターニュ半島の中央盆地。中世の街と言われている」

鎌倉ロータリークラブの推薦で応募し、試験にパス、ロータリー財団の国際親善奨学生としてフランス・レンヌの第一大学大学院に2年間留学する。7月下旬に現地到着の連絡が届いている。

新川がきれいになりました

深沢高生が清掃活動に汗

空き缶や折れた傘などを拾い集めたり、草刈りしたり、元気に活動する高校生たち＝写真。途中、カエルやカニなどの生き物を見つけ大騒ぎも。

本格的な夏を前に7月7日、鎌倉市深沢地区で新川の清掃活動が行われ、深沢高校（芦木高司校長）の吹奏楽部とバスケット、テニス、陸上部など運動部の有志ら約百人が周辺住民、企業などとともに参加した。鎌倉西ライオンズクラブ（徳増明美会長）の呼びかけで、深沢行政センターから中外製薬周辺までの川のゴミ集めや除草、草刈り、両岸に積った土砂の除去作業などを行った。ゴミや伐採された草木などは市の協力で川から引き上げられ、回収された。

8月2、3日の「ふかさわ夏まつり」の初日、この川で灯ろう流しが行われる＝4面に関連記事

七夕で故事に習いカジノキ植樹

幼児たちが土かけ、鎌倉宮で

その昔、七夕にはカジノキ（梶の木）の葉に歌や願い事を書く風習があった。この故事に因んで6月8日鎌倉宮の拝殿わきで、カジノキの植樹が行われた＝写真。

祭神・護良親王の生誕7百年を記念して、横浜市磯子区の生活文化研究家・山根コミさんが、拝殿に立てた2本の竹笹の間に五色の短冊を飾り、2㍍ほどに育ったカジノキを奉納した。

カジノキは平安朝の昔、その葉に和歌や習い事上達などの願いを書いて、七夕に飾った風習があった。毛むくじゃらな葉には墨がよく含まれ、美しい文字が書ける。樹皮の繊維は衣料や製紙にも使われた。

4、5年生ほどのこの木が、山根さんの自宅庭にあり大事に育てていた。生誕記念にこれを奉納。大町の会社員京野雅さんの長女美咲ちゃん（4つ）と横浜市金沢区の会社員小川正秀さんの長女若香奈ちゃん（4つ）が、小さなシャベルで土をかけた。

大役を終えた2人はほっとした表情で「大きくなってネ」と祈っていた。

威勢よい掛け声、哀愁の天王唄

大町の神輿ぶりにぎわう

威勢のいい掛け声とともに、神輿4台が一列に並ぶ鎌倉市大町の「神輿ぶり」が八雲神社例大祭の7月12日行われた＝原田晃さん写す。午後から氏子青年が白丁烏帽子姿で神輿を担いで町内をまわった。夜は「大」の文字の提灯にろうそくの灯りをともした神輿を、半被姿にねじり鉢巻の担ぎ手たちが天王唄を唄いながら担いだ。4台が並んだ壮観な風景の見物客の姿が絶えず、午後9時ごろまで続いた。

大町祭り実行委員長山田勝久さんは「例年以上の人出でにぎわった。子どもたちに伝統文化を引き継いでいきたい」と話していた。

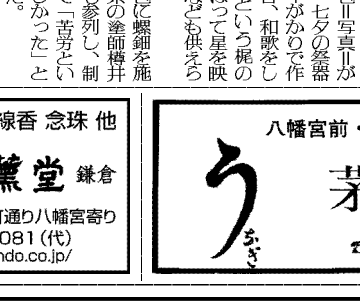
祭りの期間中、演芸大会、富くじ、盆踊りなどが催され、連日町内に子どもたちのお囃子の笛や太鼓が響いた。

七夕の祭器に琵琶、琴新調

鶴岡八幡宮で神楽奉納

「♪笹の葉さらさら、の短冊はゆれる…」園児たちの合唱にあわせて五色の吹流しが風にたなびく。

7月7日の夕刻、鶴岡八幡宮舞殿で、祭の神事で雅楽の演奏や巫女の神楽が奉納された。昔と想いをはせた。



舞殿前の祭壇には螺鈿の琴と琵琶＝写真＝が飾られた。七夕の祭器として1年がかりで作られた。昔、和歌をしたためたという梶の葉、水をはった星を映すたらいなども供えられた。

琴と琵琶に螺鈿を施した奈良県の塗師樽井喜久さんも参列し、制作について「苦労というより楽しかった」と話していた。

逗子絵本コンクール

夢のある作品を募集

夢のある生活と心豊かな文化の育成を目標に創設された5回目の逗子市の絵本コンクール。

募集は10月1～15日。子どもから大人までアマチュア対象。A6～A3判、30ページ程度。角野栄子、スズキコージ、野村昇司さんらが選考。一般の部最優秀賞に賞金20万円、優秀賞5万円など。

2月に表彰と展示、09年度に印刷製本。逗子市教委☎046・872・8153

い・い・ま・ち・鎌倉
御成（おなり）不動産
（扇ヶ谷入口第一生命前）
鎌倉市御成町13番22号　☎0467－25－1003(代)

お香 香炉 香道具 匂い袋 高級線香 念珠 他
鎌倉に蘇える伝統の香り　香司 鬼頭天薫堂 鎌倉
鎌倉市雪の下1-7-5 小町通り八幡宮寄り
TEL. 0467-22-1081 (代)
http://www.tenkundo.co.jp/

八幡宮前・蒲焼専門店
うなぎ　茅木家
☎（22）1460

鎌倉駅より徒歩5分！　鎌倉の葬儀専用斎場
カドキホール
御成町3－5
下馬四ッ角そば
仏式のほか、神式、キリスト、無宗教の方もご利用できます。
家族葬も行えます。事前相談もお気軽に！
詳しくはお電話かホームページで
http://www.kadoki.co.jp
TEL（0467）22-0562（代）
◎下馬四ッ角セブンイレブン隣りマイパーキング鎌倉駐車場に契約してございます。
お車でお越しの方はご利用下さい。

暑中お見舞い申し上げます。
旬・感・印・刷
新聞・フリーペーパー
書籍・リーフレット
チラシ・ポスター
各種ノベルティ
各種ツールの制作・印刷・加工など、お気軽にご相談下さい。
納品先指定や地方発送・地方印刷も承っております。
旬な話題を感動情報へ
株式会社 日刊スポーツ印刷社
〒104-0045　東京都中央区築地7-8-5
電話：03-5550-8210・8211
http://www.nikkansp.co.jp/
新聞印刷・商業印刷・DTP
品質とスピードをモットーに